

# 宝くじふるさとワクワクシアター in 箱根



11月9日(日)仙石原文化センターで「宝くじふるさとワクワクシアター」を開催します。  
これは、NHKアナウンサー葛西聖司さんの司会で3部構成で行われるものです。

### 第1部「お笑いステージ応援団」

桂三枝さんをメインに西川のりおさん・上方よしおさん、その他人気漫才師の漫才。

### 第2部「トーク笑」

「笑う門には福きたる」のテーマで桂三枝さんと葛西聖司さんの楽しいトークショー。

### 第3部「ほのぼのコメディ劇場」

たくさん吉本新喜劇のメンバーとみなさんと  
でコメディを演じていただきます。

なお、当日参加したいという方は10月25日(土)に  
オーディションを行いますので、奮ってご応募く  
ださい。詳細については、後日広報等でお知らせします。

入場料金 2000円(全席自由・消費税込)

入場券の発売日や発売所は決定しだいお知らせします。

問合先 町民課 ☎5-9564



## 「西さがみ連邦共和国」で開かれるイベントに参加しよう!

事業名	日時	事業内容	場所	対象者	申込	問い合わせ
歴史探索会 「小田原めぐり」	7月12日(土) 10:00~14:00	かつて多くの人やものが行き交い、にぎわった小田原宿。「宿場町小田原」の面影をたどりながら旧小田原宿を散策	集合 山王神社 解散 板橋		申込受付中 定員 30人	郷土文化館 0465 23 1377
読み聞かせ・お楽しみ会	7月19日(土) 15:00~16:00	てぶくろ人形、小型紙芝居、カードあそび、うたあそび、大型紙芝居	小田原市立図書館	幼児・小学生~		市立図書館 0465 24 1056
バレーボール教室	7月26日(土) 9:00~13:00 7月29日(火) 19:00~21:00	東レアローズバレーボール部の指導によるバレーボール教室	7/26 箱根明星 中学校体育館 7/29 レイクア リーナ箱根	中学生・一般	電話申し込み	레이크アリーナ箱根 6 3300
自然探求会 「磯の生物を観察しよう」	8月2日(土) 9:30~15:00	海岸の潮だまりに暮らすエビやカニ、海藻類など小さな生き物の観察会	真鶴駅~尻掛海岸 ~真鶴駅	小学生~高校生(小学校低学年は保護者同伴)	7/18(金)~ 先着30人	郷土文化館 0465 23 1377
看護1日体験	8月7日(内)・8日(金) のどちらか1日	病院見学、患者への看護体験学習、進路相談、意見交換などを行う看護1日体験	小田原市立病院	1市3町に在住・在学・在勤の15歳以上の方	往復八ガキで7/14(月)必着	市立病院 0465 34 3175

注1 は小田原市、 は箱根町の略

注2 申込方法など詳細はお問い合わせください。

## 市町村合併について考えてみよう

### 第1回

市町村合併の説明や県内情報など、今後シリーズで掲載します。  
ご意見・お問い合わせは企画課 ☎5-9560

### 市町村合併って何だろう?

「市町村合併」とはいくつかの市町村が一つにまとまり、より大きな市町村となつて、広い範囲で町づくりを考えていくことで、より良い住民サービスを提供していくこととするものです。現在、全国各地で「市町村合併」の検討が進められています。このコーナーでは、将来の町づくりを考えるときの「市町村合併」という1つの選択肢について紹介します。

### なぜ今、市町村合併なの?

わたしたちを取り巻く社会環境や日々のくらしが急速に変わ

つてきています。国では、市町村の合併の特例に関する法律の期限である平成17年3月までに現在3,200ある市町村を1,000規模程度に縮小することを目標としています。

交通手段の改善やインターネット・携帯電話の普及による情報通信手段の発達、さらには経済活動の活発化に伴い、私たちの日常生活の行動範囲は現在の市町村や都道府県の区域を越えてますます広がっています。箱根町においても、町民の生活行動範囲は、小田原や三島、御殿場方面へ出かけるケースが多くなっています。

1 地域のことは地域で決める時代です。  
地方分権(※)の時代を迎え、国が市町村の仕事の細部にわたって指示する時代は終わり、市町村はそれぞれの地域の課題を自らの考えと力で解決し、質の高い住民サービスを行うことが求められています。

4 1つの市町村だけでは、対応できない課題が増えていきます。  
ライフスタイルの多様化や社会経済活動の多様化に伴い、医療、福祉、教育やゴミ、廃棄物、環境、公共下水道問題など1つの市町村の規模では解決が困難な課題が増えていきます。

2 少子高齢化が進んでいます。  
神奈川県の高齢者人口(65歳以上)は既に130万人、総人口に占める割合は15%に達しています。また、少子化の影響で生産年齢人口が減ることが予想されます。

5 国も地方も台所事情が厳しくなっています。  
国では厳しい財政状況を打開するため、補助金、地方交付税、税源移譲の見直しを行っています。

3 私たちのくらしの範囲は市町村の区域を越えて広がっています。  
箱根町においても、長引く景気の低迷等で、行政運営の根幹を成す税収の落ち込み等により極めて厳しい行政運営を強いられています。このような状況のもと、町は、平成15年度を「財政再建元年」と位置づけ、「財政再建対策本部会議」を立ち上げ、財政の再建・健全化に向け

箱根町においても、長引く景気の低迷等で、行政運営の根幹を成す税収の落ち込み等により極めて厳しい行政運営を強いられています。このような状況のもと、町は、平成15年度を「財政再建元年」と位置づけ、「財政再建対策本部会議」を立ち上げ、財政の再建・健全化に向け

積極的に取り組んでいます。

ここで挙げた5つのポイントのように、多様化する住民ニーズやより質の高いサービスを提供していくための市町村を取り巻く環境の変化は、個々の市町村の行政改革の努力だけで対応するにはあまりにも大きくなっています。

全国的に厳しい財政事情の中、住民の皆さんの期待に応え、より質の高い行政サービスを提供していくためには、市町村にある程度の規模が求められています。同時に、市町村合併は、財政面の問題に終始するのではなく、対象となる圏域市町村の歴史的背景・まちづくり政策・住民の生活圏等さまざまな要素を考慮して議論することが必要です。

また、今は検討の必要がなくとも、良い行政サービスの提供を将来も続けていくために、今の市町村の規模が適当かどうか検討することも必要です。その結果、10年後、20年後、30年後の「わたしたちのまち」を考えて、全国で市町村合併について議論されています。市町村合併は、最終的には住民の皆さんが判断すべきことであり、正確に判断できるように、正確な情報を提供することが、

行政の役割となっています。

市町村合併の歴史は古く、明治時代までさかのぼります。「明治の大合併」では、江戸時代から引き継がれた自然集落と、行政上の目的に合った規模との隔たりをなくすために、約300~500戸を標準規模として全国的な町村合併が行われました。

「昭和の大合併」では、新制中学校1校を効率的に設置管理していくために必要と考えられた、約8,000人規模を標準として、合併が進められました。箱根町では昭和29年1月に箱根町、元箱根村、芦之湯村が合併し、箱根町となり、さらに昭和31年9月には湯本町、温泉村、宮城野村、仙石原村と箱根町が合併し、今の箱根町が誕生しました。

用語解説 \* 地方分権  
地方分権とは、住民に身近な行政の権限をできる限り地方自治体に移し、地域の創意工夫による行政運営を推進できるようにするための取り組みです。住民に身近な行政は、地方公共団体である市町村が担うことが望まれています。